

TOKYO CITY CYCLING 2010

風をきり、街を抜けた 東京サイクリング



ちょっと走るだけで、さまざまに表情を変える東京。その東京を自転車で駆け抜ける「JINS東京シティサイクリング2010」(財団法人日本サイクリング協会主催、朝日新聞社、東京都共催)が開かれた。さわやかな風を受けながら約37km先のゴールを目指した参加者たちは、サドルの上から東京の魅力を見つめ、それぞれの思いを胸に、心地よい汗を流した。



午前7時過ぎから5グループに分かれて次々とスタート

JINS presents TOKYO CITY CYCLING 2010

街にやさしく東京再発見サイクリング

この事業は、競輪の補助金を受けて実施しました。
<http://ringing-keirin.jp>



スタート地点から約4km。明治神宮前では、あふれる緑に心がなごむ

9月19日、東京の都心部を自転車で走る恒例イベント「JINS東京シティサイクリング2010」が開かれた。この大会はスピードを競うものではなく、大勢のサイクリストが二斉に都内を走ることで、サイクリングの普及と発展を促そうと行われているもの。10回目となる今回は、10歳から78歳の人がエントリー。全国から2500人を超える参加者が集まった。

スタート会場となる東京都庁都民広場は、午前6時前から大勢の参加者で埋め尽くされた。ウォーミングアップをしたり、自転車の点検をしたりしながら、出発時間を待つ。

「いつもは山を走ることが多いので、市内を走るのが楽しい」「ダイエツのため」「去年イベントを見て興味をもった」など参加理由はさまざま。小学5年生の娘と軽快車(ママチャリ)で参加した40代の女性は、「ともかくゴールで

きればと思う。楽しみながら走りたい」と初参加への思いを語った。

午前7時過ぎ、「安全祈願」のホラ貝の音色を合図に、第1グループから第5グループまで順次スタート。新宿を出発し、代々木、表参道、六本木、銀座、豊洲、日本橋、皇居前、四谷を抜け、神宮外苑のゴールまで約37kmのコースにのぞんだ。

この日、東京の最高気温は約30度。朝は雲のかかっていた空も昼前には青空が見えはじめ、参加者は水分補給などをしながら無理のないペースでサイクリングを楽しんだ。途中、沿道からのエールにガッツポーズで応える姿や、車では見過ごしてしまうような光景を写真におさめる姿も見られ、次々と変わる景色を満喫したようだ。

ゴールにたどり着いた参加者には「完走証」が手渡された。朝日新聞の特設ブースでは、当日撮影した写真で自分



朝日新聞の「特別号外」を手にニコリ



プロサイクリスト山口孝徳さんの講習会も開催

環境にやさしく、健康にいい乗り物として注目を集める自転車。今回のイベントでは、「これからも、自転車に乗る機会を増やしていきたい」という声も聞かれ、多くの人がその魅力を再発見することができたようだ。

76歳の男性は、「息子に誘われて参加した。走りながら路地裏を発見し、こんないい所が残っていたのかと東京を見直した」と汗をぬぐいながら、さわやかな笑顔で感想を述べた。



埼玉県から来たので今朝は4時半起き。でも、都内をサイクリングできて眠気が吹き飛びました。よく親子でサイクリングするのですが、このイベントには初めての参加。途中でスカイツリーが見えたときは感激しました。



自転車は通勤で毎日使っています。自転車に乗らない日は気分が悪くなるくらい。銀座を自転車で走れるなんて、こういう大会じゃないとちょっと体験できないよね。ゆっくり風を感じながら、東京の景色を楽しめました。



股関節症の治療の一環として始めた自転車。体調もよくなり、今は楽しくて仕方ありません。主人と都内を走りたくて千葉県から参加しました。スピードを競うのではなく、自分のペースで楽しめるのがいいですね。



この日のために、二人で衣装を用意しました。仮装にはぴったりの大会です!晴海大橋辺りの海沿いの道が特に気持ちよかったです。自転車は自力でどこまでも行けるし、移動するプロセスが楽しいですね。

- 1.銀座4丁目交差点も、自転車で走り抜けると新鮮な光景として目に飛び込んでくる
- 2.仲間と一緒に、元気いっぱい余裕の表情でサイクリング
- 3.「エイドステーション」では水などが振る舞われた
- 4.約37kmを走り抜け、神宮外苑のゴールに到着。完走者からは達成感と安堵の表情が

